

滋賀県 東近江市 里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業

背景

- ・ 東近江市は、日本の1,000分の1モデル
- ・ 総合戦略には「戦略を実現するためのストーリー」がある
- ・ そのひとつ「**自然を最大限いかした子育て環境づくり**」を！

事業の 目的

- ・ 自然体験活動を通じて、**自ら考え、行動する子どもを育成**
- ・ 自然環境をいかした**保育の担い手の確保**
- ・ **子どもが地域に愛着を持つ**ことにより、人口流出を抑制
- ・ **子育て世代の定着や移入**を促進

これまでの 取組

- ・ 園の身近な自然に園児と出かけ、**自然の楽しさを伝えながら子どもを育成するスキル**を有する市職員が、本市独自の「**里山保育**」を実施（H27年度～）
- ・ **どの園でも実施できる**ことがメリット
- ・ 市内全28園、5歳児約800人がいる中、**約7割の園児**まで拡大

現状の 課題

- ・ スキルを有する職員が少なく、**更なる拡大が困難**
- ・ **里山保育は、子どもや市にとって重要**と考えてくれる市民が、自然環境をいかした子どもの育成に**関わりたい**と思っているが、**スキルがない**



滋賀県 東近江市 里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業

事業内容

地域資源をいかし、収入を伴う女性の活躍の場を創出

- ・主に子育て世代の女性を中心に思いを持つ市民が「東近江さとやまNannies」結成済
- ・同団体にスキルを伝え、指導者育成の仕組みを構築
- ・令和2年度から、スキルの受け渡しをスタート
- ・実施園と団体メンバーの増加により、組織基盤の強化が肝要
- ・仕組みを持続可能なものとし、団体の活動を支援



↑東近江さとやまNanniesによる指導の様子



↑東近江さとやまNanniesのメンバーに発見を伝える園児

得られる成果等

成果・目標

- ・R6年度7割、R11年度10割の園児に里山保育を実施
- ・地域に根付いた指導者を育成、地域との交流を促進
- ・同団体が、自然環境をいかした収益事業を実施
- ・子どもが動くと地域も動く。
里山保育を通じて人と自然との関わりを取り戻す。

企業様に求めるもの

- ・本市の里山保育の発信
- ・市民団体育成のための支援

企業様のメリット

- ・子育て世代を中心とした市民や行政との直接的つながり
- ・すでに動き始めている事業のため、実現性が高い。

生物多様性に配慮した森づくりや地域資源の循環など、持続可能な地域づくりへの応援をお待ちしています

問合せ先 里山保育について
企業版ふるさと納税について

環境部森と水政策課里山活用推進室 TEL 0748-24-5524
企画部政策推進課 TEL 0748-24-5628